

前年度（令和４年度）の学校評価

ア 自己評価結果等

本年度の重点目標		・授業と評価の一体化を意識し、授業改善に努め、主体的・対話的で深い学びのできる「魅力ある授業」を目指す。 ・成年年齢 18 歳引き下げを踏まえ、校則と 18 歳成年の整合性を検証し。課題があれば速やかに改善する。 ・生徒一人ひとりが自己有用感をもつことができる機会となるよう、学級活動、生徒会活動の内容を工夫する。 ・「県立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針」（上限方針）の内容について職員が理解するとともに、時間外在校時間等の縮減に向けた取組を提案する機会を設け、実施可能な取組から実践する。		
項目(担当)		重点目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導 (教務部) (進路指導部) (学年会) (各教科会)		①進路実現に必要な学力の定着と家庭での学習時間の確保	授業内容や生徒の姿に応じて I C T を活用し、魅力ある授業を展開する。また、I C T を主体的に学習する姿勢を身につけさせる道具として活用する。	マイクロソフトアカウントの配付、各教室への端末の配付、使用規則の策定を進め、授業において一人一台タブレットを使用可能な体制を整えることができた。
		②新しい時代に必要となる資質・能力の育成	自立した人間として、他者と協働しながら創造的に生きていくための資質・能力の養成を図る。	各教科の授業や総合的な探究の時間において、グループ活動や発表活動が多く取り入れられ、主体的に学習に取り組む態度の養成が進んでいる。
		③教員研修の充実、授業の改善	研究授業や公開授業をとおして、授業内容の改善を図る。	あいちラーニング推進事業主管校として、3 月の公開授業の実施に向けて授業改善に取り組んだ。
進路指導 (教務部) (図書・研修部) (進路指導部) (学年会) (各教科会)		①3 年間を見通した系統的進学指導計画の確立	生徒・保護者の進路意識と社会情勢の変化に対応できるよう、系統性のある進学指導体制を作る。	1・2 年生の L T の年間計画の中に、3 年間の流れを意識しながら、進路的行事を取り入れることができた。
		②生徒及び教員の進路意識の高揚	本校の進路指導のあり方に関する教員間の共通理解を促進させる。	研究会の案内を積極的に行い、そこで得られた情報をオンライン上で共有することで、教員間の情報量に差が生じないように努めた。
		③理数教育・国際理解教育の充実	大学や研究機関との連携を積極的に図る。外部講師を招いての講義や留学生との交流を充実させる。	他校との共同企画により、国内での宿泊型語学研修を実施するとともに、米国高校とのオンライン交流を 2 年生授業内で実施することができた。
生徒指導 (生徒指導部) (保健部) (学年会)		①いじめの早期発見・早期対応	いじめを把握するために心のアンケートを学期に 1 回実施する。	勇気を出してアンケートに回答してくれた生徒の気持ちを考え、丁寧に対応することができた。
		②心身ともに健康的な学校生活の確保	相談活動を充実させ、生徒の心の問題に適切に対応する。スクールカウンセラーを有効活用する。	心の問題から体調不良を訴え保健室を訪れる生徒が少なくなかった。スクールカウンセラーに助言をもらい対応した。保健室の負担が増えないよう相談室で気軽に相談できるようにしたい。
		③清潔な生活環境の整備	美化意識を高め、積極的な清掃活動を推進する。	小規模な美化活動を実施した。自主的に参加した生徒も多く、活発な活動になった。
その他 (総務部) (特別活動部) (教務部)		①家庭、地域や同窓会との緊密な連携	西尾高校だよりや学校のホームページを充実させ、情報発信を工夫する。	西尾高校だよりは写真部員の撮影した写真を多く活用した。各分掌にホームページ更新を依頼した。
		②学校行事を通じた自己有用感の育成	球技大会と学校祭を中心とする学校行事において、生徒一人ひとりが自分の得意とする分野での力を発揮できる場面を提供する。	球技大会・学校祭ともに、多くの生徒が積極的に参加し得意分野の力を発揮できた。特に学校祭は感染予防に配慮しつつ、生徒のアイデアも取り入れながら完全な形で実施することができた。
		③校務の I C T 化と個人情報管理	情報管理の徹底とスクールエンジンを中心としたネットワークを活用する。	スクールエンジンを利用した成績処理および帳票作成の手順を整えることができた。
学年	3 年	生徒個々に応じた進路実現	多様な生徒に対して、全体指導・個別指導・進路講演会等を通して、適切な指導・助言を与える。	生徒個々の目標の達成に向けて、主体的に最後まで粘り強く学習に取り組むように全校体制で指導できた。
	2 年	生徒個々に応じた学力の充実と進路学習	進路行事・面接を充実させ、総合的な探求とも連携しつつ授業・課題を密接に連携させ学力充実を図る。	進路 L T や進路講演会、総合探求での大学調べなどで、進路について考える機会を多く設け、高い進路目標を定めることに役立てることができた。
	1 年	適切な類型（文理）選択	面接や講演会を通じて将来像をえがく。自分自身を深く知り、職業や大学の研究を行う。	様々な講師を迎え、4 回の講演会を実施。個人への指導や面接も行い、適切な類型選択ができた。
総合評価		・授業と評価の一体化を意識した授業改善は、1 年生を中心に授業内容やテストの在り方について改善が浸透しつつあるが、学校全体としての改善までには至っていない。 ・校則に関しては、生徒指導提要の改定、18 歳成年への整合性や性自認への多様性を踏まえ、生徒指導部と生徒会役員で意見交換を実施し、それらに対応できる校則へと改定した。 ・学校行事では、コロナ禍の中でも生徒がアイディア出し通常開催での実施に結び付けることができた。また、今年度から西高展を毎年開催に変更し、その更なる活性化につなげた。 ・時間外在校時間は、昨年度と比較し、大きな改善には至らず、来年度へ課題を残すものとなった。		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	・授業と評価の一体化を目指し、観点別評価を意識した授業等の改善に努める。 ・全教職員が情報管理意識を高め、校務においてＩＣＴの効率的な活用に努める。 ・学校いじめ防止基本方針に基づき、生徒へのアンケートや教職員への研修及び取組評価アンケートを実施し、未然防止だけでなく早期発見・早期対応に努める。 ・県立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針に基づき、在校時間を客観的に把握し、時間外在校時間等の上限が遵守できるよう業務の平準化等を行う。
自己評価結果について	・観点別評価を意識した授業改善に関しては、教員と生徒とのアンケート結果に大きな乖離が生じている。教員は３観点を意識した授業展開や評価を試みているが、その視点を生徒にしっかりと提示できない状態で授業展開をしている結果であると考ええる。 ・教員の情報管理意識は、昨年度からの校長による個人情報に関する研修や個人情報の外部提供等における様式を改定することで、教員にその際の注意点を明確にすることができたと考ええる。 ・校務におけるＩＣＴ活用は、各種会議にて活用できたと考える。 ・心のアンケートや教育相談委員会等の諸会議の情報を教員間で共有する体制は構築されている。本年度は会議の参加者や会議資料の様式を変更するなど、より良い校内体制を整えた結果であると考ええる。 ・学校全体として、いじめ等の問題はほぼ皆無の状況である。しかし、その反面、実際にいじめ問題が発生した場合、教員が速やか、かつ的確に対応できるかという課題は残している。 ・昨年度から行事の精選や考査期間中の校舎施設時刻の変更などの対策を実施したが、時間外勤務減少への改善が見られなかった。
今後の改善方策について	・学習評価は個人で行うのではなく、教科全体で取り組むことが肝要である。それを繰り返していくことでよりよいものができあがる。 ・授業と評価の一体化における教員と生徒の意識の差は生じるものである。それを地道に繰り返すことで、その差も縮まり、定着してくる。 ・いじめに関しては、予防する環境づくりが大切である。弁護士から実例に基づいた講話を聴かせ、考えさせると良いと思う。 ・ＩＣＴを活用することで、世の中が変わっていくが、ＩＣＴ機器の過剰な使用にともなう健康面への影響も考えていく必要がある。 ・休暇を取ることは権利ではなく、義務という観点ももたないと働き方改革はなかなか進まない。業務の共有化を意識することが大切であり、それが業務の効率化につながる面がある。 ・校則などの理念に従って判断していくことが大切である。特に、自制力、やってはいけないことを明確化すること、考える力を身に付けさせる観点を大切にしてもらいたい。
その他（学校関係者評価委員から出された主な意見、要望）	・学校生活に関する情報などをもっと積極的に配信してもらいたい。 ・教員の働き方改革も重要だが、部活動の縮小は寂しい思いがある。部活動指導ができるために教員を目指す生徒もいる。部活動を適切に指導できる今後の教員育成の観点からも部活動も大切にしてもらいたい。 ・コロナ禍を契機に外部講師による講演会等、特に『知性と感性を磨く文化講演会』の中止は残念である。 ・先生に笑顔がないと生徒も教員になりたいとは思わない。 ・子供はインターネットを通して偏った情報しか得ないので、その点への対応もお願いしたい。 ・中高一貫教育の導入が決定され、ますます注目される学校になるので、頑張ってもらいたい。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	・構成…学校評議員４名、学校関係者（保護者代表）３名 ・評価時期…３月６日（月）